

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	342,072	506,230	522,386	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	238,233	539,900	532,800	0
	その他	(千円)	440,523	75,852	541,538	0
	一般財源	(千円)	34,537	396,709	17,372	0
事業費計		(千円)	1,055,365	1,518,691	1,614,096	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	4.00	5.00		
		時間外勤務 (時間)	600.00	750.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	29,718	35,761		
事業コスト		(千円)	1,085,083	1,554,452		

R02年度当初積算根拠	・配水管布設工事	T X沿線開発地区	145,035千円
		未整備地区	1,325,412千円
	計		1,470,447千円
	・消火栓設置工事	T X沿線開発地区	5,280千円
		未整備地区	18,755千円
	計		24,035千円
	・実施設計委託	T X沿線開発地区	36,784千円
	未整備地区	82,830千円	
計		119,614千円	
	合計		1,614,096千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	677 上水道管路修繕事業									
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道工務課 管理係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	AA-010201-03		営業費用 配水及び給水費（修繕費）							
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	職員のみ			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
漏水による事故の防止と構造物の騒音、振動を改善し、水道の安定供給及び水道施設の機能を確保する。					<ul style="list-style-type: none"> 配水管等の漏水及び弁室・弁筐等の破損等、緊急に対応しなければならない事態が発生した際に、あらかじめ請負単価契約を締結している緊急工事業者を選定し、速やかに修繕工事を実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 工事費計：73,440千円 配水管等修繕工事：64,800千円 消火栓等修繕工事：8,640千円 					<ul style="list-style-type: none"> 配水管等修繕工事：107件 76,074千円 消火栓（室含む）修繕工事：13件 11,801千円 修繕工事計：120件 87,875千円（平成31年3月末見込み） 					
成果					課題					
断水等の被害を回復し、安定した水道の供給ができた。また、事故等の二次被害及び騒音や振動等の被害をなくし生活環境が確保された。					管の老朽化による漏水、経年劣化による構造物の破損等の修繕工事が年々増加傾向にある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
修繕費の削減及び漏水等が原因の二次災害を未然に防ぐため、老朽化の著しい管路等の改良を積極的に実施していく。										
指標の推移										
1	指標名	有収率					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	91.7	92.1	91.8	91.7	91.8	91.6	0.0		
	指標の概要	有収率（料金徴収の対象となった水量を給水実績水量で除したもの。）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	15,906	0
	一般財源	(千円)	88,437	87,875	90,537	0
事業費計		(千円)	88,437	87,875	106,443	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	3.00		
		時間外勤務 (時間)	360.00	410.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	22,065	21,358		
事業コスト		(千円)	110,502	109,233		

R02年度当初積算根拠	・配水管等修繕 (漏水復旧他)	90,537千円
	・消火栓 (室) 修繕	15,906千円
	計	106,443千円

予算の方向性	理由	毎年の新設整備により修繕対象が増加していること及び施設構造物を含む上水道施設の老朽化が進むことで修繕費の増加が見込まれるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	335,104	676,231	503,300	0
	その他	(千円)	0	0	26,735	0
	一般財源	(千円)	0	0	207,650	0
事業費計		(千円)	335,104	676,231	737,685	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	240.00	176.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	14,710	14,000		
事業コスト		(千円)	349,814	690,231		

R02年度当初積算根拠	・配水管布設替等工事 (8件)	720,514千円
	・消火栓設置工事 (3件)	42,35千円
	・実施設計委託 (2件)	12,936千円
	計	737,685千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	5 十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	